

令和2年度第2回沖縄県商工労働部情報産業振興課の公の施設に係る
指定管理者制度運用委員会【審議概要】

1 日 時：令和2年11月9日（月）13:00～14:45

2 場 所：オンライン

3 出席者：

委員長	国立大学法人琉球大学 教授	名嘉村 盛和
委員	(社)沖縄県中小企業診断士協会 顧問	西里 喜明
委員	(株)沖縄産業振興センター 部長	玉那覇 正美
委員	(株)ディノス・セシールコミュニケーションズ 代表取締役社長	金城 健秀
委員	(株)サンバンド 沖縄カスタマーセンター長	木村 公子

4 委員会次第

- ・申請状況、審査基準、審査方法の確認
- ・申請者によるプレゼンテーション
- ・申請者に対する委員からの質疑
- ・申請内容の評価
- ・指定管理候補者の選定

5 委員からの主な質疑・意見

(質問1)

収支計画書について、管理比率が徐々に減少しているが、要因は何か。

(回答1)

指定管理料は5年間定額となっている。人件費の上昇分を、管理費の備品購入費や賃借料の減額等により対応しているため、管理費の比率が下がっている。

(質問2)

修繕費が毎年250万円の予算となっているが、根拠は何か。

(回答2)

直近8年間で最大の修繕費が260万円であったため、これを根拠とした。また、修繕費に関しては沖縄県と指定管理者で総額により分担が決まっていることから、これも加味して修繕費を設定している。

(質問3)

情報セキュリティに関して、新しい取り組みはあるか。

(回答3)

IT津梁パークでは入居企業の様々な個人情報を保有している。個人情報の保護のため、ロッカーの施錠管理やアクセスログの確認等、漏洩防止に取り組んできた。具体的な取り組みはまだ予定していないが、セキュリティ機器の更新について、県と調整中である。

(質問4)

自主事業の自動販売機の設置について、どのように業者を選定するのか。

(回答4)

入居企業から意見を聞き取るほか、マージンを考慮し選定する。

(質問5)

現状の問題点の改善に向けた取り組みがなされているか、確認したい。

(回答5)

施設の老朽化が始まっているため、設備の更新・修繕が今後増えることから、設備担当も含めた管理事務所のメンバー及び県の担当者を含め様々な調整を行っている。施設の中期修繕計画を策定しながら、入居企業の安心・安全に繋げていきたいと考えている。

(質問6)

SDGs関連で具体的にどういった取り組みを進めていきたい、ということがあれば、聞かせて欲しい。

(回答6)

会社全体として、SDGs推進の取り組みを進めてきた。

沖縄県SDGsパートナーとして、高齢者や障害者の雇用を拡大していくことや、健康経営宣言など、県とともに進めていきたいと考えている。

6 審議結果

全会一致により、株式会社沖縄ダイケンが指定管理候補者に選定された。